

柳沢公民館 柳沢1-15-1 ☎042-464-8211 kouminkan@city.nishitokyo.lg.jp 谷戸公民館 谷戸町1-17-2 ☎042-421-3855 yato-kou@city.nishitokyo.lg.jp
 田無公民館 南町5-6-11 ☎042-461-1170 tana-kou@city.nishitokyo.lg.jp ひばりが丘公民館 ひばりが丘2-3-4 ☎042-424-3011 hibari-kou@city.nishitokyo.lg.jp
 芝久保公民館 芝久保町5-4-48 ☎042-461-9825 shiba-kou@city.nishitokyo.lg.jp 保谷駅前公民館 東町3-14-30 ☎042-421-1125 ekimae-kou@city.nishitokyo.lg.jp



芝久保公民館
親子で陶芸にチャレンジ
7月～8月実施 全3回
陶芸サークルの方と力を合わせて、ランプシェードを作りました。

アントニオ・ロペスとスペイン現代美術

盛況な講座の後、振り返りの会で、画家のロペス出演の映画「マルメロの陽光」を観賞しました。



11月～12月実施
全3回



武蔵野中央公園で
手作り凧を揚げました。

柳沢公民館
キッズアカデミー
凧作り編
12月～1月実施 全2回

保谷駅前公民館

薬膳を取り入れた心とカラダ

あったかスープ
11月～12月実施 全3回

講師の岡本正子先生との出会いは5年前。娘を出産した助産院での食事でした。出された食事はどれも大変おいしく、その後、我が家では先生の薬膳料理を参考に、和食をベースにした一汁三菜を心がける様になりました。

今回、公民館だよりで先生の名前を拝見してうれしく思い、先生の薬膳の知識に出会いたく

柳沢公民館

ムービールーム柳沢

場 柳沢公民館
日 当日、上映30分前から受付をします。直接視聴覚室までお越しください。上映時間前に入場にご協力をお願いします。
定 50人(先着順です。定員に達した場合、入場をお断りすることがあります。あらかじめご了承ください。)

「長ぐつをはいたネコ」

(2012年・アメリカ) 1時間30分
2月5日(水) 14時～
監督: クリス・ミラー
声の出演: アントニオ・パンデラス(竹中直人) 他

「エリン・プロコピッチ」

(2001年・アメリカ) 2時間11分
2月28日(金) 19時～
監督: スティーブン・ソダーバーグ
出演: ジュリア・ロバーツ 他

平成25年度 講座参加者の声

今年度も公民館主催講座から多くの出会いが生まれ、公民館が新たな発見や学びを深める場となりました。今回は数ある事業の中から6事業を、写真と講座参加者の感想文で報告します。

田無公民館
子どもを育てながら働くあなたへ
9月～10月実施 全6回

橋本 かおる
この講座では大きく分けて、働く女性の社会環境の講義と、アサーティブの講義がありました。社会環境の講義では、正社員や契約社員、アルバイトなど、働く形態により社会保障制度が異なることや、収入額によってパートナーの扶養控除や社会保険の対象から外れることなど、働く女性を取り巻く社会環境と課題が、その人の置かれている状況によって違うことを教えていただきました。

アサーティブの講義では、同じことを伝えるのでも、言い方ひとつで相手の受けとめ方が違うということを教わりました。また実際に受講者同士で相手の申し出を断る練習をし、それをお互いに発表しました。

この講座は少人数でアットホームな雰囲気でした。受講者それぞれが置かれている立場も異なり、お互いの経験談を聞くのもとてもいい勉強になりました。

*アサーティブとは、自分も相手も尊重する肯定的な自己主張の方法

ひばりが丘公民館

ティーンエイジャーの働き方を考える
7月～8月実施 全4回

中学2年 松本 瞬
講座の1日目は、日本サッカー協会のトップレフェリーインストラクターのお話を聞きました。映像を使って説明してくれたのでとても解りやすかったです。「現状に満足していないら、すでに後退が始まっている。常に目標を持って努力し、初めて現状維持ができる」とおっしゃって、僕は常に目標を持って努力しようと思いました。また、最後にはレッドカード、イエローカード、グリーンカードをもら



えたのでうれしかったです。2日目は、パティシエのお話を聞き、ロールケーキを作りました。プロの方に教えてもらったので、おいしく作ることができました。最後に、おみやげをもらえたので良かったと思いました。

午後は、保育園の園長さんにお話をうかがいました。保育園で働くことの辛さと楽しさが解りました。また、折り紙でコマを作って楽しかったです。

3日目は、医師のお話を聞きました。長年の体験談を聞いて、こういう生き方もあるのだなと思えました。

僕は、この講座に参加して良かったと思います。理由は、多くのことを学べたからです。これからは、このお話を将来に役立てていきたいと思っています。

サークル訪問

田無百人一首の会



日差しが明るい土曜日の午後、芝久保公民館の和室では百人一首のかるた会が始まりました。4つのグループはどれも真剣な表情。正座をし、きちんと挨拶をしてから、一首ずつ読み手が読んでいきます。元アナウンサーの浮田さんは、「限られた時間内に何回もやりたいからあまり抑揚をつけずにどんどん読むんですよ」と話します。

年配の方の中に、小学生の姿も。聞くと、会のメンバー29人のうち、小中学生が7人いるそうです。「学校が百人一首を授業に取り入れている影響で、4、5年くらい前からでしょうか、この会にも小中学生が来るようになりました。地区大会の中学生の部で優勝したメンバーもいます」と話すのは会長の小杉さん。会の最高齢90歳の内山さん

と対戦した田尻くんは小学4年生。「今日は負けちゃって悔しい。この会に来るとお菓子も食べられて楽しいです」

昭和47年、旧田無市の文化財保護委員会の提案で始まった同会は、日本の伝統文化を通して、この地域で幅広い世代の人たちのつながる場となっています。

連絡先: 小杉 042-422-0049